

## 第2章 東静岡駅周辺のまちづくり

### 1 目指す姿

#### 当地域の「陸の玄関口」にふさわしい「文化とスポーツの殿堂」

世界の宝「富士山」をアイデンティティの源とする一体的な地域づくりの中心である日本平山頂から三保松原に広がる地域の「陸の玄関口」となるのが、東静岡駅周辺です。

当地域は、富士山を借景とし、霊峰から導き出される多様な価値を実感できる美しく風格あるまちづくりを進めることが求められます。また、周辺に集積する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設との相乗効果を生む地域の拠点として、若者をはじめとする多彩な人々を魅了し、多様な交流と賑わいを生み出す「文化とスポーツの殿堂」の形成を目指します。

### 2 まちづくりを進める視点

#### (1)当地域の「陸の玄関口」にふさわしい美しく風格あるまちづくり

- ・富士山をアイデンティティの源とする地域の玄関口であり、この地域が有する「学術、文化・芸術、スポーツ」などの高い文化力を実感できる美しく風格あるまちづくりを進める視点が重要です。

#### (2)“ふじのくに”の新たな拠点として賑わいを生み出すまちづくり

- ・この地域で学ぶ約1万7千人の学生をはじめとする若者による賑わいの創出に加え、東静岡駅周辺地区を地域の玄関口として、国内外から多彩な人々を呼び込み、多様な交流と賑わいを生み出すまちづくりを進める視点が重要です。

#### (3)東静岡駅南北一体の統一感あるまちづくり

- ・東静岡駅の南北に跨る「文化とスポーツの殿堂」の形成に当たっては、南北を快適に移動できる歩行者空間の整備や、デザイン、景観の一体的なコーディネートなど、駅南北の統一感あるまちづくりを進める視点が重要です。

### 3 まちづくりのあり方

#### (1) 「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいたまたまの創出

①国内外に誇る“ふじのくに”の魅力を発信するイベント・コンベンション等の舞台

<ポイント>

○「静岡」を世界に売り込むイベント・コンベンションの継続的開催

- ・この地域が持つ「場の力」を活かして、国内外の人々が集うイベント・コンベンション等を継続的に開催し、「“ふじのくに”静岡」を世界に発信していく戦略は、大変有効です。
- ・東静岡駅周辺には、こうしたイベント・コンベンション等の開催舞台として、会議場、展示・イベントが可能な施設や広場などの機能、コンベンションを支える機能を備えることが重要です。

表3 「“ふじのくに”静岡」を売り込むイベント・コンベンションの例（イメージ）

イベント・コンベンションの種類	静岡の持つ「場の力」
富士山をはじめ世界の名山をテーマとした会議	・世界遺産富士山を望む最高の「場の力」の活用
「食」と「健康」をテーマとした「バイオ静岡」会議	・日本一の農林水産物 ・健康寿命日本一
アニメ・漫画等のコンテンツ関連のイベント	・静岡を舞台とした世界的な人気コンテンツ（ちびまるこちゃん、キャプテン翼など） ・ガンダム等アニメキャラクターの模型メーカーが集積
舞台芸術の世界フェスティバル	・世界的に評価の高いSPACの活動拠点
オーケストラなど音楽公演	・ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）への加盟（浜松市）

## ②学術、文化・芸術、スポーツ集積エリアへの玄関口

### <ポイント>

#### ○玄関口として備えるべき情報発信や結節点の機能

- ・富士山を仰ぐ最高の「場」である日本平をはじめ、当地域が有する「場の力」を情報発信する機能が必要です。海外から訪れる多彩な人々の満足度を高めるためには、ユニバーサルデザインの視点を持ってまちづくりを進める必要があります。
- ・日本平及び三保松原に広がる多様な施設の玄関口となる当地区は、円滑な移動を可能にするアクセス拠点としての機能が必要です。

### <機能例>

#### ○「場の力」となる地域資源の情報発信機能

- ・地域の起点である東静岡駅から「富士山」を眺望できる展望デッキ
- ・文化・芸術・スポーツ施設への案内機能
- ・情報の多言語表記、W i - F i 環境の整備

#### ○アクセス拠点としての機能

- ・円滑なアクセスを可能とする公共交通機関等の結節点としての機能
- ・東静岡駅と周辺とを繋ぐ「水と緑」に彩られた遊歩道等

## ③文化・芸術、スポーツに触れ・楽しみ・親しむ場

### <ポイント>

#### ○高いレベルの文化・芸術、スポーツに触れ、楽しみ、親しむ場

- ・本物の文化・芸術、スポーツは生涯を通じて豊かな感性や創造性を高めるとともに、まちに賑わいを創出します。
- ・本物の文化・芸術、スポーツに触れ、楽しみ、親しむ場の機能が必要です。

### <機能例>

- ・東静岡駅から文化・スポーツの核施設への安全かつ円滑なアクセス動線
- ・花やストリートファニチュア等による気持ちを高揚させる空間の演出
- ・沿道に店舗が並ぶなど賑わいが溢れる歩行者空間
- ・回遊性のある歩行者空間のネットワーク
- ・歴史・文化に思いをはせる古代東海道を活用したオープンスペース
- ・「文化とスポーツの殿堂」で展開されるイベント等の情報発信機能
- ・文化・スポーツ関連の物販機能等

## ④文化・芸術、スポーツを通じて多彩なふれあいを生み出す場

### <ポイント>

#### ○文化・芸術、スポーツの鑑賞、観劇、観戦、創作活動等を通じたふれあい

- ・文化・芸術、スポーツは、若者をはじめとする多彩な人々のふれあいを創出します。鑑賞・観劇・観戦及び創作活動を通して、様々な人々が出会い、交流を深める場としての機能が必要です。

### <機能例>

- ・駅南北を密接に結び、人々の交流を促すペDESTリアンデッキ
- ・文化・スポーツを実践し発信できるオープンギャラリーや広場等
- ・集い、交わることができる交流スペースやオープンカフェ、バー等

## **(2)統一感あるデザイン、景観の形成**

### ①富士山の眺望への配慮

#### <ポイント>

- 眺望に配慮した建築物の形態等
- 眺望場所の確保
- 眺望の「借景」としての活用

#### ○富士山の眺望に配慮した建築物の形態等

- ・主要な眺望地点から富士山の眺望を阻害することがないように、東静岡駅南口及び北口に整備する「文化とスポーツの殿堂」は、建築物の配置に留意する必要があります。
- ・また、建築物の高さについても、グランシップの高さ以下に抑制するなど、建築物の形態等には、富士山の眺望への配慮が必要です。

#### ○富士山の眺望場所の確保

- ・玄関口となる「文化とスポーツの殿堂」から富士山の眺望を楽しむ環境を整備するため、ペDESTリアンデッキや「文化とスポーツの殿堂」の敷地内に眺望場所を確保し、「富士見」の場とすることが重要です。
- ・「富士見」の場には、日本平と調和する緑の植栽やベンチ等を配し、快適に眺望が楽しめるよう配慮する必要があります。

#### ○富士山の眺望の「借景」としての活用

- ・「文化とスポーツの殿堂」には富士山の眺望を借景とし、富士山の美しさ、崇高さ、雄大さを取り込んだ景観を形成することが重要です。
- ・富士山を借景とすることで、「文化とスポーツの殿堂」が富士山をアイデンティティの源とする当地域の玄関口であることを明確に示すことが必要です。

## ②美しい景観のまちづくり

### <ポイント>

- 新幹線からの視線を意識した景観形成
- 駅南北をつなぐ景観軸の形成
- うるおいある景観の形成
- 印象的で風格のある夜間景観の演出

#### ○新幹線からの視線を意識した景観形成

- ・東静岡駅の南北に跨って形成される「文化とスポーツの殿堂」は、新幹線の車窓から眺められる対象となります。新幹線の乗客を惹きつける美しくメッセージ性を持った景観形成が必要です。
- ・「文化とスポーツの殿堂」として、県都静岡の新しい都市拠点にふさわしい、美しく風格あるシンボリックな建築形態とする必要があります。

#### ○駅南北をつなぐ景観軸の形成

- ・東静岡駅の自由通路やペDESTリアンデッキを活用して、多くの人が行き交う駅南北が調和した景観軸を形成することが重要です。
- ・「文化とスポーツの殿堂」の玄関口として、ストリートファニチャーやモニュメント、サイン等の設置により、賑わいを演出する景観を創出することが有効です。

#### ○うるおいある景観の形成

- ・緑地や街路樹等は、まちの景観にうるおいを与えます。
- ・道路、公園内での緑化、建築敷地内での植栽や屋上緑化、壁面緑化など、官民が一致協力して取り組む必要があります。

#### ○印象的で風格のある夜間景観の演出

- ・建築物のライトアップやイルミネーション、歩行者空間の照明等により、印象的で風格のある夜間景観の演出は、「文化とスポーツの殿堂」のイメージアップに有効です。

### ③「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいまちづくりの統一感あるデザインの形成

#### <ポイント>

○「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいデザイン、景観を一体的にコーディネート

○背景となる丘陵の緑に映える建築形態

○新都市にふさわしい光、水、緑溢れるオープンスペース

○親近感あるデザイン

○「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいデザイン、景観を一体的にコーディネート

- ・駅南北に跨る「文化とスポーツの殿堂」は、グランシップとの調和を図りながら、統一感があるデザインとすることが重要です。
- ・「文化力とスポーツの殿堂」の建築物は、富士山の借景と調和する色彩とすることが重要です。
- ・案内サインや屋外広告物は、分かりやすくまとまりのあるデザイン・色彩とし、全体として調和が図られた景観を形成することが必要です。

○背景となる丘陵の緑に映える建築形態

- ・「文化とスポーツの拠点」は、有度山や谷津山の丘陵の緑を背景として、美しいランドマークとなる形態であることが求められます。

○新都市にふさわしい光、水、緑溢れるオープンスペース

- ・屋外イベントにも活用可能な、人々が日常的に集い、賑わい、憩う開放感あるオープンスペースを確保することが重要です。
- ・古代東海道を活用した水や緑が溢れるオープンスペース、光と風を感じるペDESTリアンデッキ、四季の花々で彩る芝生広場等を確保することが重要です。

○親近感あるデザイン

- ・歩行者等に圧迫感を与えない建築物の壁面高、建築物の壁面及びペDESTリアンデッキの路面などのデザインや素材に親しみが感じられる配慮が必要です。
- ・広場やペDESTリアンデッキは、ベンチや屋外彫刻、モニュメントの設置などにより、親しみのあるデザインとすることが重要です。

# 東静岡駅周辺のまちづくりのあり方（イメージ）

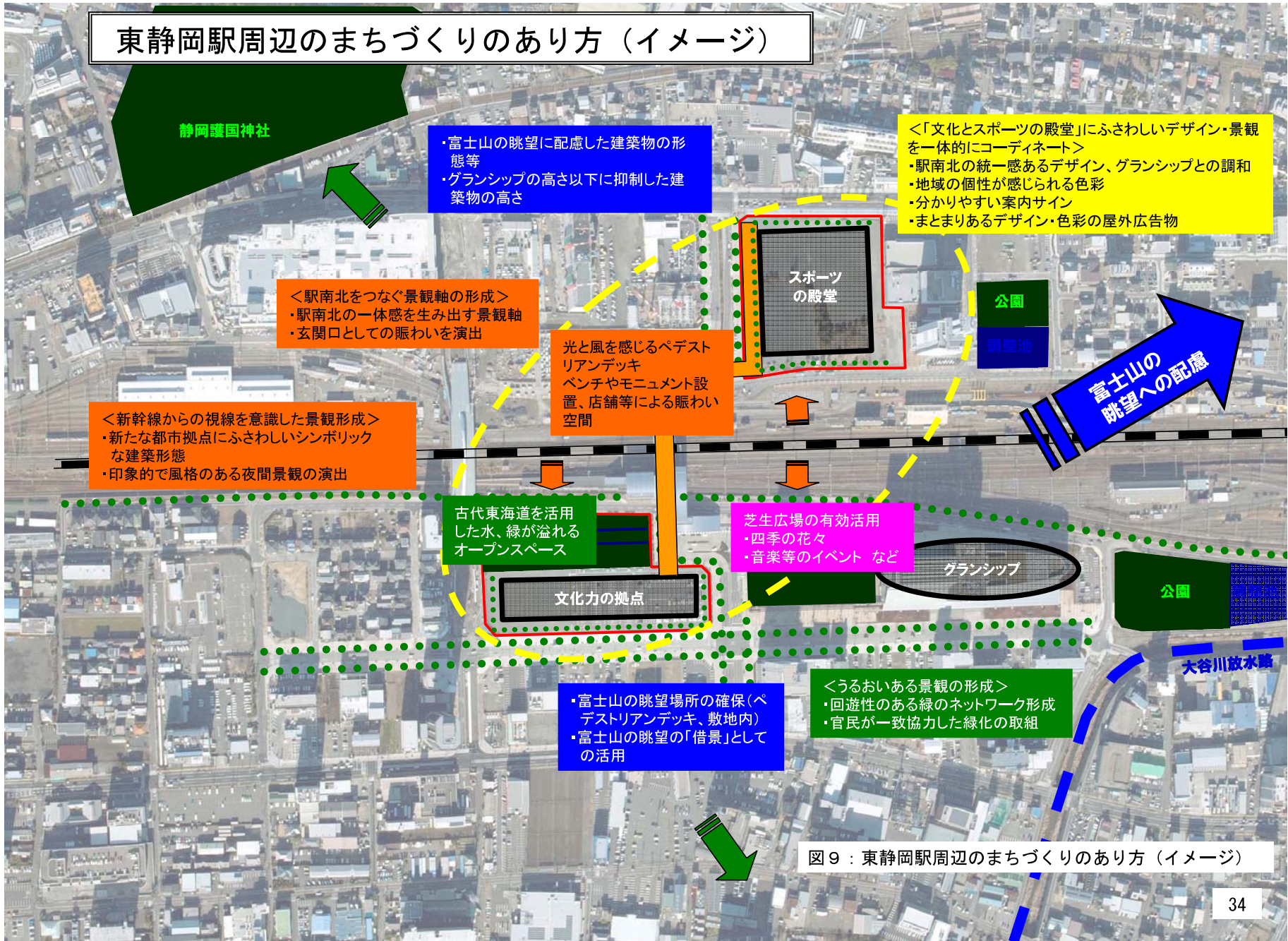


図9：東静岡駅周辺のまちづくりのあり方（イメージ）